

2020(令和2年) ハタハタ情報 No.1

令和2年9月25日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2020年9月5日～9月6日に、留萌沖の水深170～400mの7調査点でトロールによる漁獲試験を行い、ハタハタを採集しました。

- 1歳以上の採集尾数は近年の9月調査と同様に少なかった
- 1歳魚（2019年級）が主体か。ただし採集数が少ないため不明瞭
- 水温は高めから例年並み

1. ハタハタの採集状況

今回の調査では、留萌沖で7回トロールを曳網し、ハタハタは合計で35尾（1歳以上：11尾，0歳：24尾）採集されました。1歳以上の1マイルあたり採集尾数は平均2.6尾であり、近年の9月調査と同様に少ない値でした（図1）。

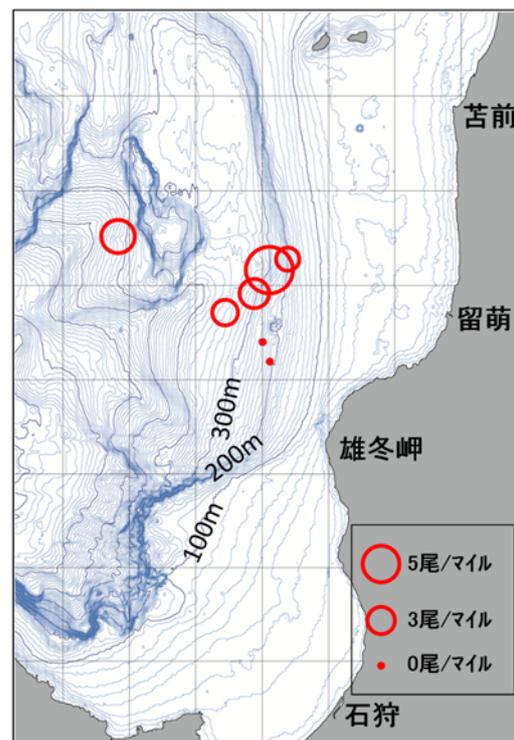


図1 9月トロール調査による採集尾数（1歳以上）

2. ハタハタ（1歳以上）の体長と年齢（図2）

例年、この時期の調査では雌の採集は少なく、今回の調査では1歳以上11尾のうち雌は1尾でした。

雌雄混みの年齢組成は1歳（2019年級：2019年生まれ）主体のため、体長は小さく12～15cm台でした。



図2 今回の調査で採集されたハタハタ（1歳以上）の体長組成と年齢組成

3. 0歳の採集状況（図3）

今回の調査では、0歳の採集尾数は合計24尾（1マイルあたりの平均採集尾数は5.7尾）であり、2010年以降の調査では少ない方でした。

また0歳の採集密度をみると、今漁期に漁獲の主体となる2019年級（1歳）と2018年級（2歳）は低かったですが、2017年級（3歳）は高い値でした。

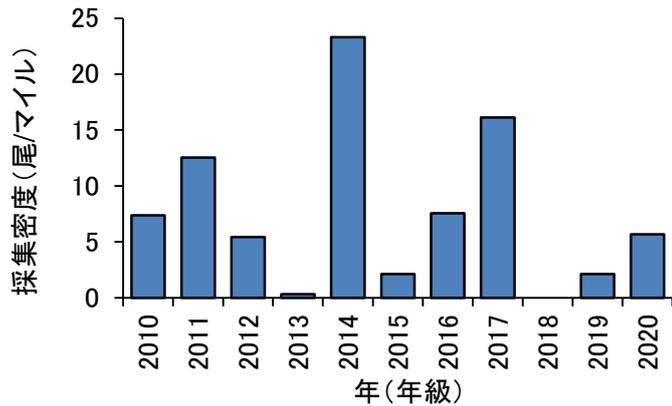


図3 9月トロール調査による0歳の採集密度

4. 水温（図4）

今回の調査中に実施したCTDによる雄冬沖（北緯44度，東経141度）における表層から底層にかけての水温観測結果を，過去3年の平均値と併せて示しました。

今回の調査で観測した水温は，底層付近（深度380m）で1.1℃と過去3年平均と同程度でしたが，深度300m以浅では高い値となっていました。

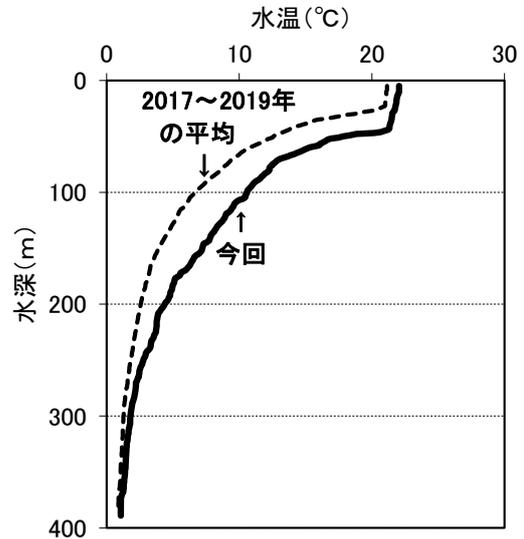


図4 雄冬沖（44° N, 141° E）の水温分布

5. 今後の調査など

1歳以上のハタハタについては，近年の9月調査の結果と資源量との関係がみられなくなっており，分布量を判断するのが難しくなっています。そのため，10月に実施予定のトロール調査の結果や0歳時の採集尾数などから判断していきたいと思えます。